

管理番号	IM037J
改訂番号	0

# モジュラーフィルタ取扱説明書

型式：OFI 型

(株)増田製作所

〒344-0004

埼玉県春日部市牛島 906

TEL : 048-761-0007

FAX : 048-761-0009

MAIL : [info@e-masuda.co.jp](mailto:info@e-masuda.co.jp)

## お願い

この度は、モジュラーフィルタをご購入いただきありがとうございます。  
 取扱いを誤ると、思わぬ怪我を負う可能性がありますので、本取扱説明書に従い、正しくご使用いただくようお願いいたします。

なお、本取扱説明書はお使いになる方がいつでも見れる場所に、必ず保管して下さい。

## 目次

1.	警告表示について	1
2.	型式	2
3.	仕様	2
4.	安全弁	2
5.	検知器	3
6.	据付	3
7.	運転	3
8.	保守・点検	4

## 1. 警告表示について

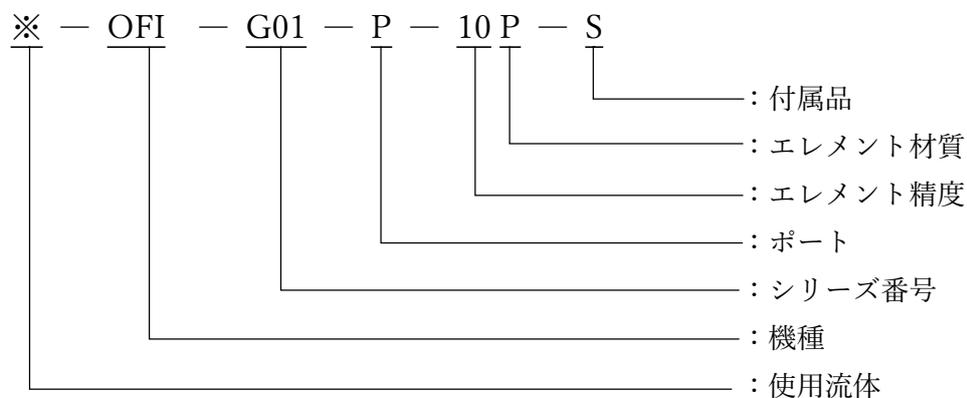
この取扱説明書には誤った取り扱いをすると生じることが想定される危害等の内容を[注意]として区別してあります。

警告用語	意味
 <b>注意</b>	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害を負うおそれ想定される場合。

<b>注記</b>	特に注意を促したり、強調したい情報について使用。
-----------	--------------------------

## 2. 型式

OFI 型モジュラーフィルタの型式は下記の通りです。



記号の詳細については添付標準図をご確認下さい。

## 3. 仕様

最高使用圧力：21 MPa

	<b>注意</b> 最高使用圧力を超えての使用はしないこと。 破損のおそれがあります。
--	---

使用流体：一般鉱物油・・・無記号      水—グリコール系作動油・・・W—  
 リン酸エステル系作動油・・・F—      脂肪酸エステル系作動油・・・QE—  
 その他の流体でのご使用についてはお問合せ下さい。

<b>注記</b>	型式先頭に記載された使用流体でご使用願います。 一般鉱物油と材質等が異なりますのでご注意願います。
-----------	--

## 4. 安全弁

エレメントが目詰まりを起こした際、エレメントの破損等を防ぐ為に安全弁が装備されています。1次側(入口側)と2次側(出口側)の差圧が設定以上になった際、安全弁が開き、油がエレメントを通過せずに1次側から2次側へ流れます。

設定圧力：0.34MPa

## 5. 検知器

エレメントの目詰まり状態を確認出来るように検知器が付属しています。検知器は

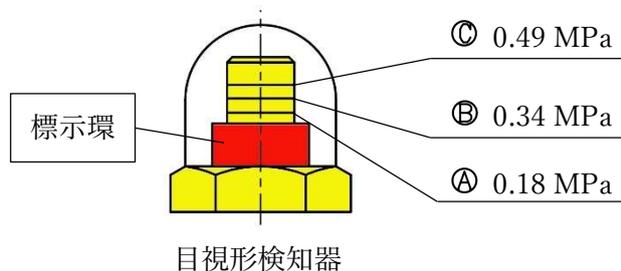
- ・目視形検知器 付属品記号・・・S
- ・電気接点付検知器 付属品記号・・・E

のどちらかになります。ご使用前にどちらの検知器か確認して下さい。

目視形検知器は標示柱と赤の標示環で成りたっています。

エレメントが目詰まりしてきますとエレメント前後の差圧に応じて標示環が上昇します。標示柱には差圧を示す目盛りがあります。標示環が目盛り④を過ぎましたら早めにエレメントの交換をして下さい。目盛り④～⑥の位置と差圧の関係は下図の通りになります。

電気接点付検知器の場合、差圧が 0.34MPa まで上昇するとスイッチが作動します。目視表示はありません。接触仕様は 1C(双投形)です。



スイッチ(電気接点付検知器)の定格

型式	項目	
	定格電圧	抵抗負荷
SS-5-F (オムロン)	AC125V	5A
	AC250V	3A

## 6. 据付

- (1) メンテナンススペース(エレメント抜き代)が確保されているか確認して下さい。
- (2) 据え付け面寸法は ISO 4401-03-02-0-05 となります。
- (3) P ポートに入った作動油がエレメントを通過します。間違えないか確認して下さい。
- (4) 据え付けは上下の機器と各ポート位置を合わせボルトで固定して下さい。

## 7. 運転

- (1) ポンプ運転前に仕様流量、圧力及び流体がフィルタの仕様にあっていることを確認して下さい。
- (2) 運転後徐々に小流量から仕様流量まで流して下さい。
- (3) 異音や振動がないことを確認して下さい。異常が確認された場合は、直ちにポンプを停止し、点検して下さい。

## 8. 保守・点検

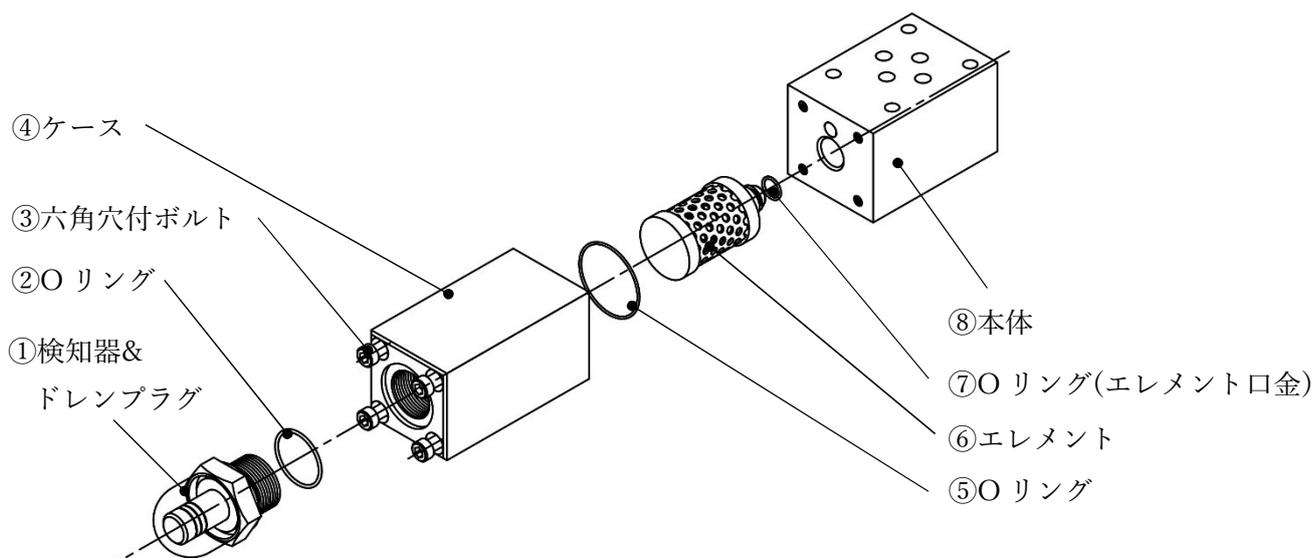
定期点検時、検知器の標示環が標示柱<sup>Ⓐ</sup>の位置を超えた場合、又は電気接点付検知器の場合警報が出された時次の順序でエレメントを取り出し交換して下さい。

目詰まり警報が出ていなくても、使用開始から2年程度を目安にエレメントは交換して下さい。

 <b>注意</b>	ケースを外す前に油圧装置を停止。圧力が0になったことを確認後、ケースを外すこと。けがの恐れがあります。
---	---

### 分解

- (1) 油圧装置を停止して下さい。
- (2) ①検知器&ドレンプラグを緩め、作動油を抜いて下さい。
- (3) ④ケースを締付けている③六角穴付ボルトを緩めケースを取り外して下さい。
- (4) ⑥エレメントを引き抜いて下さい。
- (5) 各部のOリングを取外して下さい



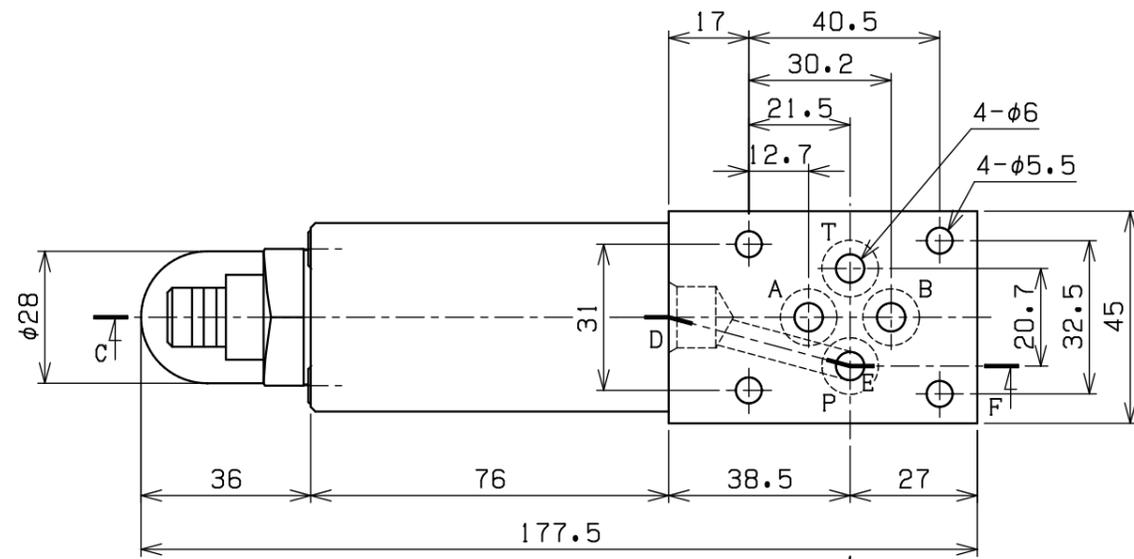
### 組立

- (1) 組立は逆の順序で行って下さい。  
Oリングは新品に交換して下さい。
- (2) ③六角穴付ボルトは下記締付トルクを目安に締付けて下さい。

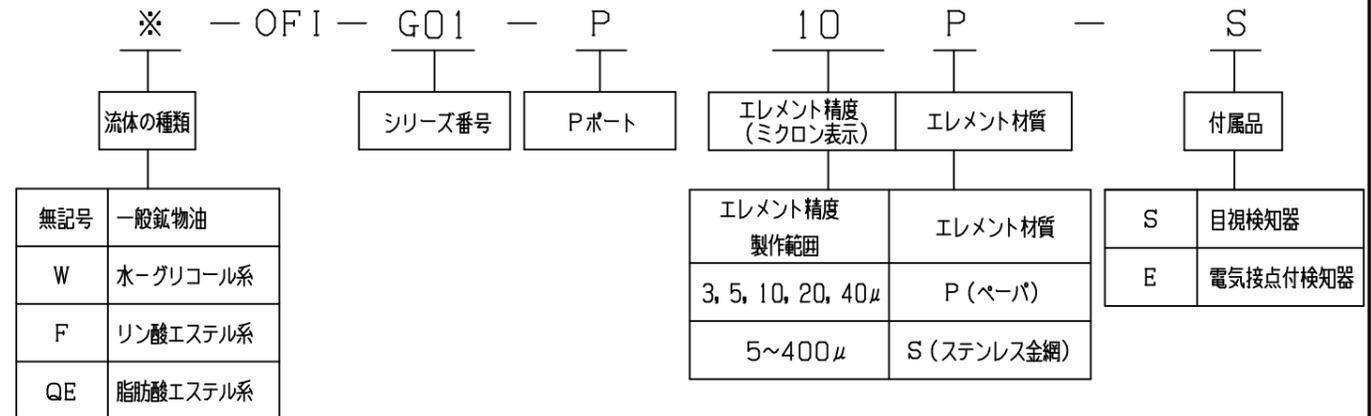
型式	ボルトサイズ	締付トルク
OFI-G01	M5	8 N・m

REVISIONS				
MARK	REMARK	DATE	DRAWN	CHECKED

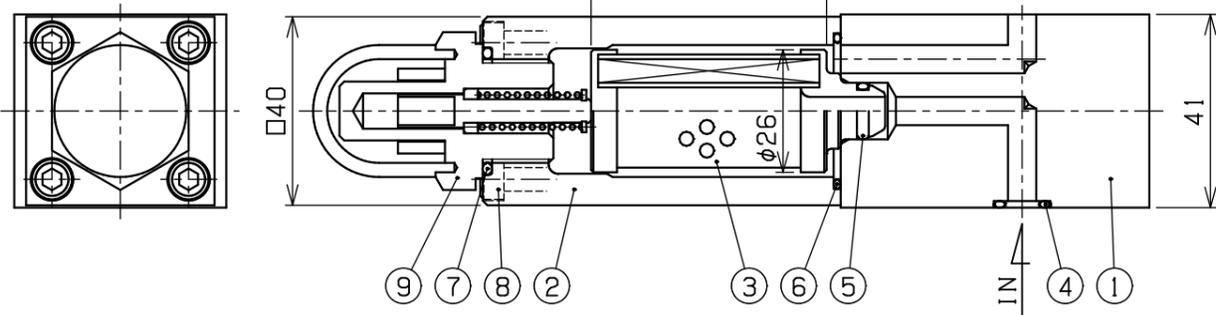
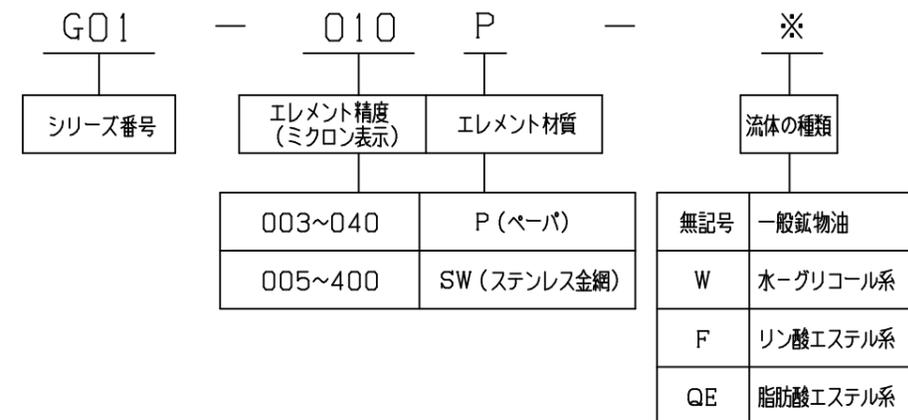
【外形】



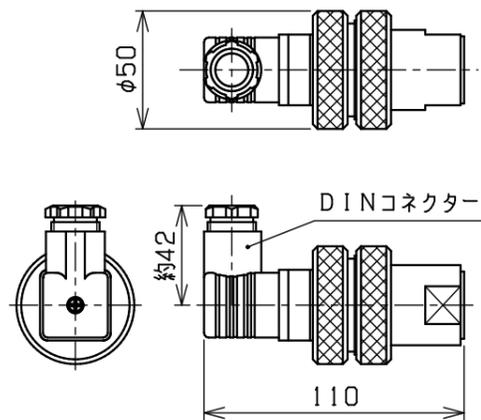
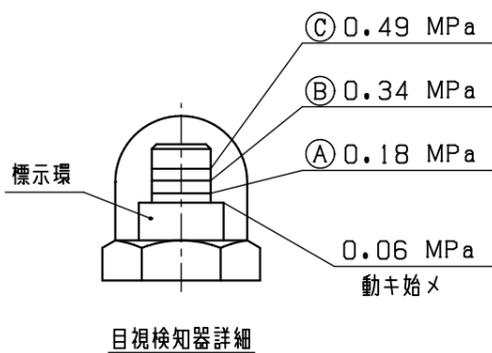
【モデル番号コード】



【予備エレメントコード】



断面 C-D-E-F



マイクロスイッチ: OMRON SS-5-F  
AC125/250V-5A/3A  
エレメント内外差圧 0.34 MPa ニテスイッチング

電気接点付検知器外形

【部品表】

名称	④	⑤	⑥	⑦	⑧
型式	Oリング	Oリング	Oリング	Oリング	六角穴付ボルト
OFI-G01	JISB2401 P9-1B	JISB2401 P8	AS568 025-1B	JISB2401 P22-1B	M5X80

最高使用圧力 21 MPa  
安全弁開弁圧力 0.34 MPa

下記は一般鉱物用材質、流体の種類により一部材質等が変更となります。

No.	NAME OF PART	MATERIAL	Q' TY	REMARKS
9	検知器&ドレンプラグ	BRASS, SWP	1セット	
8	六角穴付ボルト	SCM	4	
7	Oリング	NBR	1	Hs90
6	Oリング	NBR	1	Hs90
5	Oリング	NBR	1	
4	Oリング	NBR	4	Hs90
3	エレメント		1	
2	ケース	CARBON STEEL	1	
1	本体	DENCE BAR	1	

3RD ANGLE PROJECTION		TITLE	
SCALE	1/1.5	モジュラー フィルタ	
APPROVED	K. Iida	MODEL No. OFI-G01	
CHECKED	T. Yasuoka	DRAWING No. 2900-135-01	
DRAWN	K. Okada	MASUDA MFG. CO., LTD. SAITAMA JAPAN	
DATE	2025.8.6		